

らいぶらいい・にゅーす

翔陽高校図書館

10月号

読書の秋になりました♪朝読書の時間を活用して少しでも本を読んでみてね!

期間限定

ハロウィンイベント!

ブック・スタンプラリー

10月10日(火)~10月27日(金)

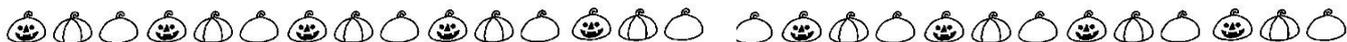
- ① カウンターで用紙をもらう。
- ② 指定されたジャンルの本を1冊ずつ借りる。
(1ジャンルにつき、1つスタンプ押印)
- ③ スタンプが全部集まったら、カウンターへGo!

お菓子 or 粗品がもらえます! (数に限り有)

★粗品は、寄贈された景品です。 ★台紙はカウンターにあります。

指定ジャンル

- ① 好きな小説
- ② 進路の本
- ③ 小説・進路以外の本(絵本・漫画以外)



News!

3年次図書委員「大人たちこそこれを読め」原稿がくまもと森都心プラザ図書館に展示されます。

展示期間：10/19(木)~11/30(木)



9月(先月)の貸出

朝読書用に借りてね

1年次	76冊(多読クラス	7組	15冊)
2年次	117冊(多読クラス	2組	32冊)
3年次	62冊(多読クラス	4組・5組	17冊)

出前図書館 出動! 10/13(金)~20(金)

学年次の廊下に本をのせたブックトラックがやってきます。ぜひ利用してください。

村田武美先生 (1-4担任・英語) にインタビューしました!

◎オススメの本

担当: 1-4 福田・内田

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』(ブレンディみかこ)

「元・底辺中学校」と呼ばれるカオスな地元イギリス公立中学校に通う、父が英国人、母が日本人の主人公「ぼく」。人種差別や貧富の差、ジェンダー、アイデンティティなど、さまざまな問題に悩みつつも、しなやかな感性と公平な視点でクールに対応していきます。「底辺託児所」に勤めるパンクな母(筆者)とのやりとりをとおして「ぼく」の葛藤と成長、そして多様性の時代に生きる厳しさとたくましさを感じる作品です。



◎高校時代の思い出

本の貸し出しの際、令和時代の皆さんはバーコードでピッとしますが、私の高校時代は裏表紙のポケットに入ったカードヘクス番号・氏名を記入するようになっていました。カードに書かれた氏名の中に憧れの先輩の名前を見つけては、ドキドキしながら読んだことを覚えています。昭和あるある!

もうすぐ届きます 予約受付中!



☆一人暮らしを始める人に・・・

『ひとり分やる気 1%ごはん』(ハマごはん)

『マンガでわかる ひとり暮らしのトリセツ』(アベナオミ)

☆悩みを抱えるあなたに・・・

『「孤独」は消せる。』(吉藤健太郎) 『僕が僕をやめる日』(松村涼哉)

『モヤモヤそうだんクリニック』(池谷 裕二)

『10代から知っておきたい あなたを丸めこむ「ずるい言葉」』(貴戸理恵)

☆小説

『レーエンデ国物語』(多崎礼) 『とわの庭』(小川糸) 『鏡の国』(岡崎琢磨)

『怪談売買所～あなたの怖い体験、百円で買い取ります～』(宇津呂鹿太郎)

☆売れてます!

『くもをさがす』(西加奈子) 『頭のいい人が話す前に考えていること』(安達裕哉)

『むかしむかしあるところに、死体があってもめでたしめでたし。』(青柳碧人)

☆その他

『ねこ謎』(SCRAP) 『ぎょうざのひ』(かとうまふみ)

『ジブリ美術館写真集 ジブリ美術館ものがたり』(スタジオジブリ)

『不動産鑑定士・宅地建物取引主任者になるには』(いのうえりえ)

『日本の四季を話そう 春夏秋冬の写真英語ずかん』(大門久美子)

『ニュートン式 超図解 最強に面白い!! 人工知能 仕事編』(松原仁)

